

法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学

「就業力を育てる3ステップシステム」
プロジェクト<http://3step.hosei.ac.jp/>

文部科学省『大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)』採択プロジェクト

ニューズレターの創刊にあたり

教授 藤村博之（ふじむら ひろゆき） プロジェクトリーダー

昨年度の後半から、就業力育成支援GPが始まりました。2014年度までの5カ年事業です。この事業には全国で180の大学・短大が選ばれ、本学も市ヶ谷地区の7学部を対象とした取組として申請し、採択されました。

このニューズレターは、今回のGPを教職員と学生に広く知ってもらうことを目的に、月1回の割合で発行していきます。的確な情報提供を目指してまいりますので、よろしくお願ひ致します。

大学教育は就業力育成に貢献してきた

就業力育成支援という言葉聞いたとき、「大学を就職予備校にするのか」という印象を持たれる方も多いと思います。そうではありません。就業力とは、就職するための力ではなく、一人の職業人として生きていくための力です。

私たちは、今回のGPの申請にあたって、「これまで大学が学生に提供してきた教育は、就業力の育成に貢献していた」という立場を堅持しました。私は、大学の教壇に立つようになって約25年になりますが、大学教育は就業力の育成に大いに役立っていると思っています。それは、大学で教えていることと学生が働くようになって必要とされる能力が重なるからです。

就業力を3つの構成要素でとらえる

今回のGPでは、就業力を3つの要素でとらえています。①文書作成力、②情報収集・分析・発信力、③状況判断・行動力です。会社に入ると、会議の議事録をとることや顧客への訪問記録を作ることを求められます。これは、講義やゼミで学生にレポートを書かせて、教員が添削することによって磨かれます。

会社の中である案件について検討するときには、関連する情報を集めて分析し、ある種の価値判断を加えて自分の意見を発表することが求められます。これも、大学で教えていることと共通性があります。周囲の状況を見ながら自分が何をしなければならぬかを考えて行動することも、ゼミやサークル活動で学生たちは経験しています。そうです。「大学教育は、いい線いっている」のです。

大学教育も変化への対応が求められている

では、これまで通りでいいかということ、そうではありません。まず、入学してくる学生の質が変わってきました。大学進学率の上昇は、基礎学力が十分でない大学生を増やしています。以前に比べて、より手厚い指導が必要になっています。

もう一つの変化は、企業に入ってからの人材育成が短期志向になっていることです。新入社員にさまざまな経験をさせながらじっくり育てる企業が少なくなりました。学生たちは、自分の能力を高める方法がある程度知ってから働き始めないと、目の前の些事に翻弄されて、地に足のついた職業能力を身につけられなくなっています。

大学教育も、社会の変化に対応していかなければ存在意義を失ってしまいます。今回のGPが本学の教育向上に少しでも貢献できるよう努めていきたいと思ひます。教職員はじめ学生のみなさんのご協力をよろしくお願ひ致します。



略歴

84年名古屋大学大学院卒
京都大学博士(経済学)。

84～89年京都大学経済研究所助手、90～97年滋賀大学経済学部助教授・教授。

97年～03年法政大学経営学部教授、04年～IM研究科教授。



略歴 法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン専攻(修士)卒業後、法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程に進学。2011年3月、同博士課程中退。

着任のご挨拶

特任教員 白井 章詞 (しらいしよじ)

法政大学のキャリアセンターに勤務する傍ら、博士課程に進学し、若者のキャリア形成について調査・研究を行なってきました。修士時代は、指導教員の「倒れるなら前のめりで」という慈愛に満ちた指導方針のもと、命を削って学ぶ毎日でした。博士課程においても、講義前の「準備体操」と称した知的訓練の段階で、早くも思考が停止するほどの学びがありました。今もって思うことは、諸先生方の学生に対する愛情の深さです。教育職を務めるにあたり、「知識」と「経験」は諸先生方に遠く及びませんが、まずは師を見習い、学生に対する「愛情」に溢れた講義を行なっていきたいと思えます。今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



略歴 70年慶応義塾大学経済学部卒。70~06年伊藤忠商事(株)勤務、06~11年帝京大学と法政大学職員。11年~法政大学教員

着任のご挨拶

特任教員 有田 五郎 (ありた ごろう)

企業・大学双方での現場経験を活かしてお役に立ちたいと考えています。総合商社で営業・海外・人事、大学ではキャリアセンターという就業後と就業前両方の現場を体感したからこそその視点・考え方を基本とします。その現場で役立てるべく上級キャリアカウンセラー資格取得後も、上智大学でカウンセリング、南山大学でグループファシリテーションを学び、早稲田大学系財団でヘルスケアカウンセラー資格取得と守備範囲を広げてきました。教育現場では「個」と「マス」のバランスが大切と考えています。その時・その場で感じたものに対して相手に何が出来るのか、いつもこの問いを自分への課題として取組ませていただきます。



略歴：日米ハイテク企業での営業・人事を経て人事コンサルタントとして独立。キャリアカウンセラー資格取得後は多くの大学でキャリア論の講師を務める。

着任のご挨拶

特任教員 鈴木 美伸 (すずき よしのぶ)

長年、企業での人材育成・採用活動に携わって参りましたが、大学教育と企業の求める人材像との距離に問題意識をもっておりました。このプロジェクトでは、大学のもつアカデミック・マインド・スキル・ネットワークが社会において通用することを学生に指導すると同時に、その教育内容・手法を企業の人材採用・能力開発者と広く議論しながら「就業力」の育成プログラムを開発していく所存です。また、この度の大震災はこれからの日本社会、若者のキャリア指向、企業の経営戦略の大きな転機になると思われます。過去の知恵の資産を復旧して未来への新しい知恵を復興すること、そうした社会貢献になることも願っております。

◆ 高校生向け連続キャリアガイダンスのご案内

日時：2011年6月26日・8月7日 / 21日 / 22日(オープンキャンパス開催日)
定員：60名(事前申込み制) 時間：90分 場所：法政大学市ヶ谷キャンパス
講師：児美川 孝一郎教授(キャリアデザイン学部長) 白井 章詞特任講師

★ 詳細・お申込み方法は追って「就業力 GP」のHP(<http://3step.hosei.ac.jp/>)上でお知らせ致します。

◆ 学習ステーションで「就業力」昼休み宿題ゼミを実施

この春より在学生の学習活動をサポートする目的で開設された「学習ステーション」の取組みの一環として、学生の自習活動の向上をめざす「宿題ゼミ」が昼休みを使って行われ、就業力をテーマとした「宿題ゼミ」も以下日程で行われます。

5月19日(木) 藤村 博之教授(就業力GPプロジェクトリーダー)

★ お問合せ・お申込みは

5月20日(金) 有田 五郎特任講師

こちらは中止となりました。6月の開講を目指してただ今調整中です。

学習ステーション(03-3264-9072)まで

◆ 編集後記：

本紙では本プロジェクトの取組について、担当の教職員の思いをストレートに伝えていきたいと思えます。ときには無関係に見える記事も登場するかも知れませんが、それはゴールまでに必要な「さんぽ(散歩)」と思ってください。本紙の表題はこの「さんぽ」に「3ステップシステム」の「三歩」を掛けています。(お気づきでしたでしょうか?) どうぞ宜しくお願い致します。 < 事務局:細田 >

「就業力を育てる3ステップシステム」プロジェクト (事務局:学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL:03-3264-9520 WEB:<http://3step.hosei.ac.jp/>

就業力を育てる**3ステップシステム**
文部科学省「大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)」採択プロジェクト